

電波時計 取扱説明書
(掛置兼用時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元保管して、必要に応じてご覧ください。

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の「使用上のご注意」を必ずお読みください

電源について……………ソーラー発電とボタン電池

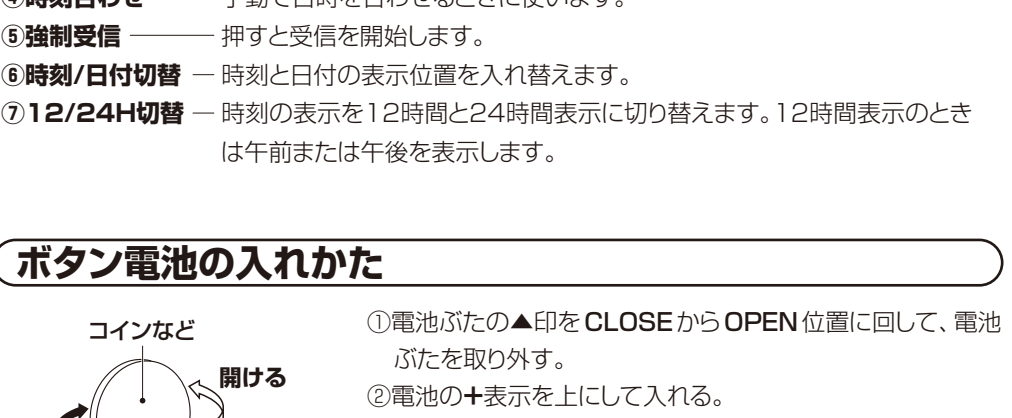
この時計は明るいところではソーラー発電とボタン電池、暗いところではボタン電池で駆動します。ソーラー発電とボタン電池を併用することにより、電池寿命を5年以上[※]と長寿命化を図っています。

(注) 1日に200ルクスの明るさで約8時間ソーラー発電する必要があります。

- ソーラー発電しても、ボタン電池への充電は行ないません。
- ソーラー発電のみでは動きません。必ずボタン電池を入れて使用してください。
- ソーラーセルに直射日光を当てるとソーラーセルが劣化し、発電効率が低下します。
- 電池が薄くなったり、暗いところで停止するときにはボタン電池の交換が必要です。

各部の名称と役割

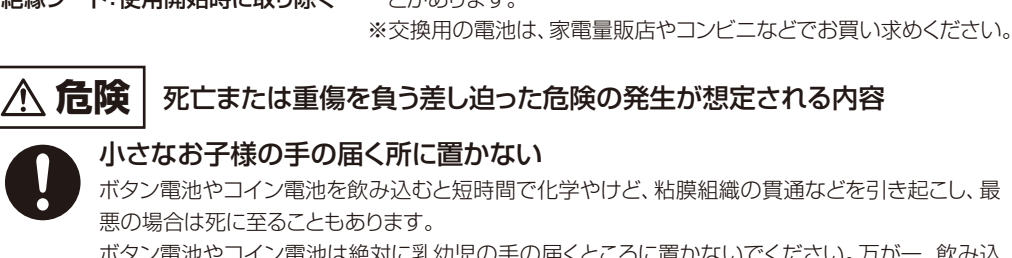
◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



【参考】照度環境の目安

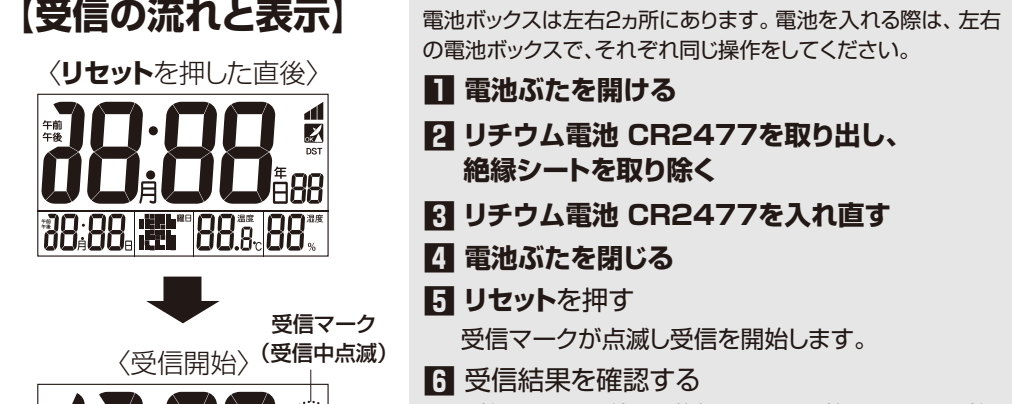
150ルクス 一般的なリビング
300ルクス 明るいリビング・オフィス
700ルクス 明るいオフィス

※寝室や窓のないところは十分な明るさや受光時間不足することがあります。



- ①戻る — 手動で日時を合わせるときに使用します。
- ②進む — 操作 押してすぐ離す 押し続ける
戻る 数値を1つ戻す 早戻し
進む 数値を1つ進める 早送り
- ③リセット — 電池を入れた直後に押します。2012年1月1日、午前12:00にセットされます。
- ④時刻合わせ — 手動で日時を合わせるときに使用します。
- ⑤強制受信 — 押すと受信を開始します。
- ⑥時刻/日付切替 — 時刻と日付の表示位置を入れ替えます。
- ⑦12/24H切替 — 時刻の表示を12時間と24時間表示に切り替えます。12時間表示のときは午前または午後を表示します。

ボタン電池の入れかた



- ①電池ぶたの▲印をCLOSEからOPEN位置に回して、電池ぶたを取り外す。
- ②電池の+表示を上にして入れる。
※電池を組み込んで出荷しています。使い始めるときは、電池を取り出して絶縁体を取り除き、電池を入れ直してください。
- ③電池ぶたの▲印をOPENからCLOSE位置に回して、電池ぶたを取り付ける。
※電池が取り出しにくいときは、すきまに楊枝などを挿し込んで電池を持ち上げてください。
※金属製のピンセットを使用しないでください。電池がショートすることがあります。
※交換用の電池は、家電量販店やコンビニなどで買い求めください。

危険 死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容

- 小さなお子様の手の届く所に置かない
ボタン電池やコイン電池を飲み込むと短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。
ボタン電池やコイン電池は絶対に乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一、飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。

使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

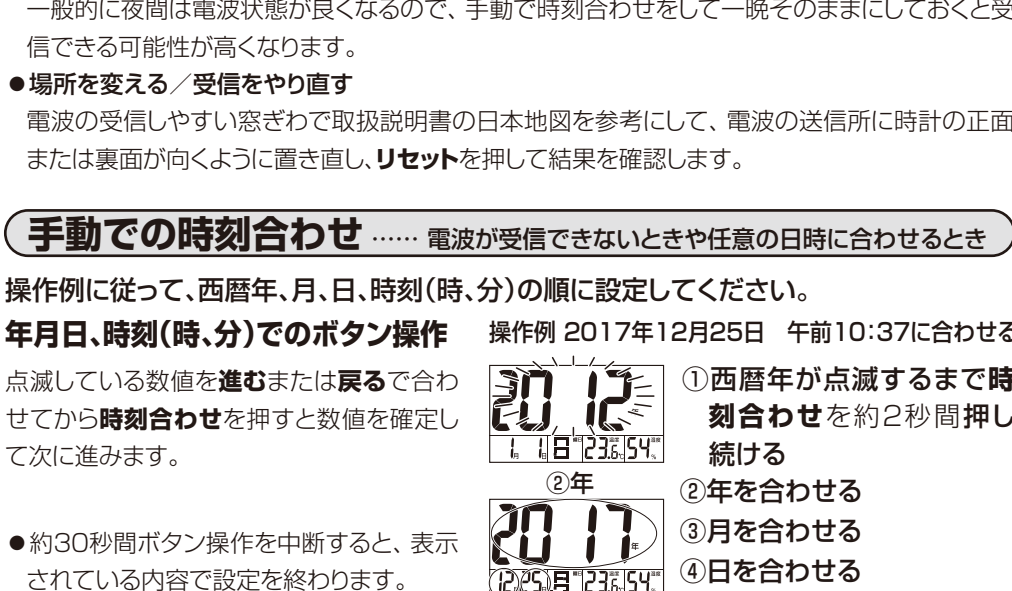
標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには「手動での時刻合わせ」をお読みください。

◎電波を受信しやすい際機などに置いてください。

◎電池の入れかたについては、「ボタン電池の入れかた」をご参照ください。

※電池を組み込んで出荷しています。使い始めるときは、電池を取り出して絶縁体を取り除き、電池を入れ直してください。

【受信の流れと表示】



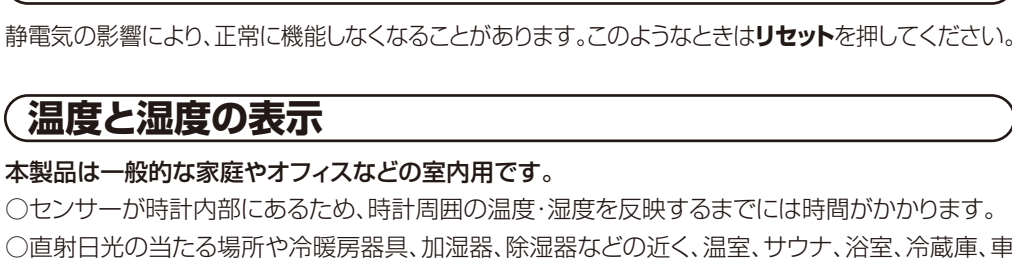
- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に夜間に電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓やで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定してください。



- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
- 電波受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

- 受信機能OFF(無効にして手動で時刻を合わせ) リセットボタンをおそ1秒間隔で3回押してください。
- リセットボタンをおそ1秒間隔で3回押してください。
- リセットボタンをおそ1秒間隔で3回押してください。
- リセットボタンをおそ1秒間隔で3回押してください。

- 受信機能ON(有効にして受信を開始する) 戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押して離すと受信を開始します。その後戻るボタンを押してください。
- 標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときは操作をやり直してください。

強制受信とリセット操作

- 強制受信ボタン 場所を移動したときなど電波の受信を試みたときに使用します。受信に失敗しても継続して時刻を表示します。
- リセットボタン 電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2012年1月1日午前12:00に初期化されます。

電波受信機能がONのときは受信を開始します。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。

温度と湿度の表示

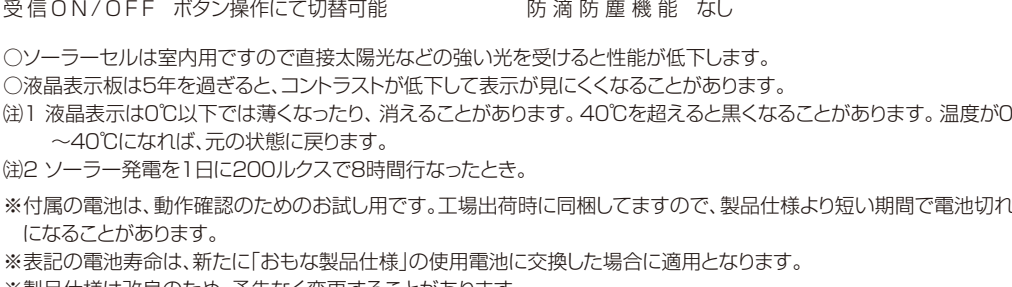
- 本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度を反映するまでには時間がかかります。
- 直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 測定する高さによって温度に違いが出る場合があります。また、湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所では違いがでます。
- ※厳密な湿度管理をする用途には適していません。また、湿度の証明や商取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示

- 温度 [HH] 50℃を超える高温 [LL] -9.9℃未満の低温
- 湿度 [HH] 95%を超える多湿 [LL] 20%未満 [—] 測定不能 (温度が5~50℃の範囲外)

表示の切り替え

- 時刻/日付優先表示切り替え 時刻/日付切替を押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。
- 12/24時間表示の切り替え 12/24H切替を押すと時刻の表示形式が切り替わります。



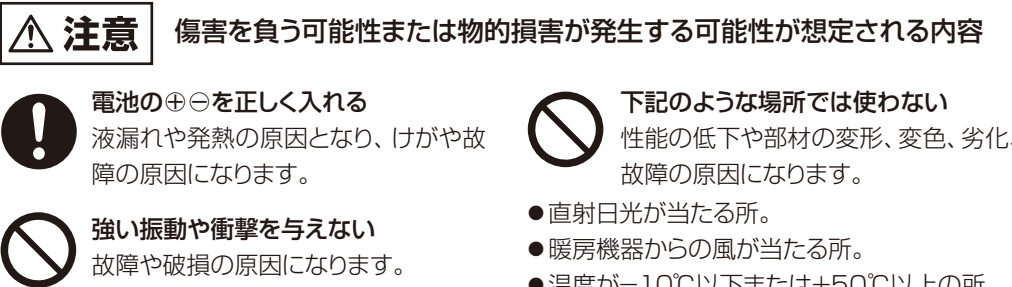
●電波を受信しているときや手動で日時を設定しているときは、表示を切り替えることはできません。

設置について

- 注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。
- 掛けかたは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛け部以外のところに掛けないでください。
- 置時計としてご使用になるときには、スタンドを図のようにしてください。
- 無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。
- 水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からがきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

おもな製品仕様

表示方式	LCD(液晶)	標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正	カレンダー表示	2012~2099年まで対応
使用温度範囲	-10~50℃ (液晶表示可読温度範囲 0~40℃) ※1	受信局	福島局 九州局自動選択	温度表示範囲	-9.9~50℃
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒	受信回数	8回/日	湿度精度	±2℃
電源	リチウムボタン電池 CR2477 2個	受信開始時刻	1時から4時、13時から16時、各時間帯の16分40秒に受信開始	温度表示範囲	20~95%RH 湿度が5~50℃のとき%RHは相対湿度を表示
電池寿命	ソーラー発電 薄型太陽電池	サチ機能	電波の強弱表示	湿度表示精度	±10%RH
	ソーラー発電と併用 5年 ^{※2} 以上、電池単体で約4年	受信ON/OFF	ボタン操作にて切替可能	防潮防塵機能	なし

◎ソーラーセルは室内用ですので直接太陽光などの強い光を受けると性能が低下します。
◎液晶表示は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。
◎1 液晶表示は0℃以下では薄くなったり、消えることがあります。40℃を超えるときと黒くなる場合があります。温度が0~40℃になれば、元の状態に戻ります。
◎2 ソーラー発電を1日に200ルクスで8時間行なったとき。
※付属の電池は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱しますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 リチウム電池 CR2477(お試し用) 2個、木ねじ 1個、保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ◎は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●傷をつけない。 ●分解しない。
●ショートさせない。 ●充電しない。
●加熱しない。 ●火の中に入れない。
- 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
- 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。
- ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。
- 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。
- 液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液に絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。
- 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●暖房機器からの風が当たる所。
●温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
●火気のある所。 ●ほこりが多く発生する所。
●強い磁気が発生させる機器のそば。
●車中や船舶、工事現場などの振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電波時計について

電波時計とは
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。標準電波送信所は、福島局：おたか所や山標準電波送信所と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。

電波の受信範囲について
送信所から約1200km離れた場所でも受信が可能です。ただし、受信範囲であつても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(https://ijr.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。

電波を受信しにくい環境

- 次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など
●電磁波の起る所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●地下、ビルの中、ビルの谷間
●高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中は、販売店の保証書が必要です。

- 修理部品の保有について
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。
例. 4MY○○○、4MYA○○○、8MY○○○、8MYA○○○

お客様相談室: 0120-557-005 受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してはなら責任を負いかねますのでご了承ください。